

トランプ2.0 マッドマンセオリーは成功するか？

一般財団法人ジオ政策研究所 代表理事 西脇邦雄

トランプ大統領は就任以来、大統領令を連発し、「カナダを51番目の州に」「メキシコ湾をアメリカ湾に」「ガザ地区を買い取ってリゾートに変える」など驚きの発言が続く。

しかし前嶋和弘教授は「大統領令連発はハリボテ」と指摘。国民の支持率は拮抗、共和党は下院で5議席民主党を上回るのみ、上院でも60議席がなく民主党の抵抗で予算措置を伴う公約は実現できないと見る。

外交の交渉術は、37代ニクソン大統領が使った「マッドマンセオリー」と呼ばれる。あえて非常識な振る舞いをする事で、相手を動揺させて成果を得る戦術だ。

2月14日欧州安全保障会議では、フランス副大統領が「欧州は米国に頼らず防衛することが大事」「欧州の脅威は中国、ロシアでなく内部にある」と移民政策や民主主義を痛烈に批判。ドイツ総選挙では、極右勢力AfDを支持するとまで発言した。

3月4日 EUフォンデアライエン委員長は「最大8000億ユーロ、125兆円規模の防衛力強化の計画を発表」中東では、アラブ連盟が緊急会合を開き530億ドル(7兆9500億円)のガザ地区再建計画を発表「いかなる移住も拒否する」とした。ついにマクロン大統領がフランスの核の傘で欧州防衛を主張する事態になっている。

トランプ2.0の外交は、朝鮮半島、台湾有事について米軍に頼らない安全保障の課題を突きつける。

ウクライナ停戦の条件

3月12日停戦の共同声明を受け、東郷和彦氏(元外務省欧亜局長)は、敗戦を経験した日本は停戦を支持し積極的に対応するべきだとする。外交合意がない限り、相手が減じるまで続く。

停戦交渉では、相手の歴史や国民性を理解し、交渉できる相手とみれるかが鍵。トランプ大統領は中立的調停者としてプーチン大統領と交渉している。

一方ロシアは、ナチスやナポレオンの侵略に次ぐ第3次防衛戦と考へ、NATOの拡大をやめ、ウクライナの中立化など「根本原因」を取り除くよう主張している。停戦合意には、エマニエルトッド氏の「西洋の敗北」の視点が必要だ。

トランプ・スランプ報復関税

関税をデニールに使い、中国20%、カナダ、メキシコ25%を3月4日に発動した。また3月11日鉄鋼、アルミ製品を対象に25%、日本を含むすべての国を対象にすると決定。EU260億ユーロ(4兆3000億円)規模の報復関税、カナダ、トルドー首相は300億カナダドル(3兆1000億円)に上る米国製品への対抗措置をそれぞれ発表。オンタリオ州、フォード知事は全ての酒店からバーボンウイスキーやカリフォルニアワインの撤去を命じ、市民のアメリカ製品 boycot とも起っている。

これまでカナダ、メキシコ、米国の自由貿易協定で、車は無関税、国境を超えたサプライチェーンが築かれてきた。部品が8回国境を越える例もある。

米国自動車ビッグスリー(GM、フォード、クライスラー)が価格上昇につながると対象外を要請。先行き不安がテスラ株をはじめとする株式の下落を招き、経営者の支持が

離れ「トランプスランプ」(3月7日 日経)との声も上がる。

関税戦争を前に1930年大恐慌の後、スムート・ホーリー法が成立した歴史を忘れてはならない。世界恐慌の後、自国産業保護のため40〜50%の関税を2万品目対象に実施した。報復関税で世界貿易は縮小、第2次世界大戦を引き起こした。新帝国主義と言われる時代(佐藤優氏)、戦後80年軽武装、経済重視できた我が国の歩みは継承できるのか問われている。

2025年もジオ政策研究所は、
多文化共生、スポーツ文化の育成を
柱に様々な発信をしていきます。
引き続きのご支援を
よろしくお願いいたします。



代表理事 西脇邦雄

生野区介護家族ゆとりの会 30周年記念式典

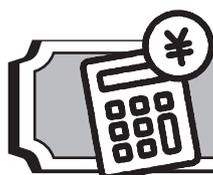
2024年3月21日

故南栄さんの後を西脇が引き継ぎ気がつけば30年の歳月が。発足したのは1993年。痴呆性老人と呼ばれ、徘徊や採め事が起きて入院すれば拘束が当たり前だった時代。苦勞する家族が安らげる旅行会や相談会に取り組み、車椅子の方と一緒に「寝たきりになら連」と阿波踊りに参加されていました。生野区の活動は大阪市24区の家族連絡会へとつながっていきます。

記念イベントは、脳性麻痺と戦いながら津波バイオリンを演奏する式町みずきさんのコンサート。生野区民センターいっばいの大盛況でした。

活動再開・介護家族の旅行会・専門家研修相談会・施設選び方講座に取り組んでいきます。

<http://yutorinokai.org>

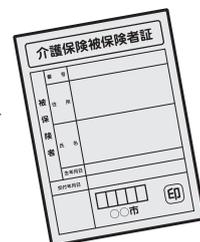


大阪市 全国一高い介護保険料?を考える

11月9日「生野区介護者家族ゆとりの会」研修相談会。日本一高い介護保険料となった大阪市、住み慣れた地域で老後を安心してどう過ごすかはみんなの課題です。

「どうなる介護保険」をテーマに三浦浩史氏(大阪市介護支援連盟代表)の講演を聞きました。

介護保険は基礎自治体が保険者となっている意義は、こうして市民や専門職が参加参画して一緒に制度をつくっていけることにあります。



She Believes Cup優勝 強豪アメリカに勝利

アカデミー堺1期生 宝田選手DF活躍!

2月27日アメリカに13年ぶりの勝利。パリ五輪ベスト16に終わったなでしこジャパン。デンマーク人ニールセン監督のもと新たなスタートを切りました。

オーストラリア4:0 コロンビア4:1と幸先の良い日本は、優勝のかかる最終戦、JFAアカデミー堺の1期生宝田沙織選手が、センターバックで起用され声援を送りました。

JFAアカデミー堺は日本協会が運営する女子サッカーのエリートアカデミー。中学年代の選手の育成を堺ライオンズクラブの皆さんと共に後援会で応援しています。3月14日には11期生が卒業、大阪学芸、大商学園など強豪校へ進学します。

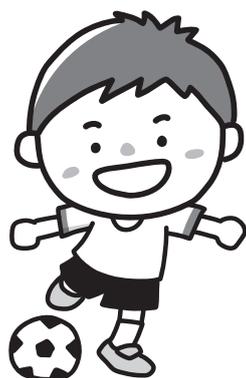


福島復興支援—前を向いて共に進もう!アドバンスカップ生野

2011年東日本大震災—福島県伊達市のサッカーチームとのご縁を大切に、震災の年の赤ちゃんが12才になるまで続けようと毎年カンパを募って開催して来ましたが、でもコロナ禍で4年開催できず。

2024年9/14-16アドバンスカップが5年ぶりに実現しました。

伊達市1チーム平野区此花区生野区12チームと交流戦、ホームステイ、USJ招待と盛りだくさんの企画。熱い絆を感じる3日間。





菅原絵美教授「ビジネスと人権」一日弁連で講演

2月26日日弁連主催「ビジネスと人権の観点から政府から独立した人権機関の意義を考えるステークホルダー勉強会」に参加しました。国会議員も参加できるよう衆議院第二会館です。

グローバル展開する企業はサプライチェーン含めジェンダーや人種差別、児童労働、強制労働の問題に取り組むことが求められます。

この分野の第一人者ジオ研究所評議員、大阪経済法科大学菅原絵美教授が基調報告。DEI(ダイバーシティ、平等、インクルージョン)はいらないとトランプ大統領は主張するが、国連が打ち出したSDGsやESG投資、環境と人権を大事にする企業こそ価値があると評価される時代。国内の構造的な差別解消にも好影響になると訴えました。

大阪関西万博に ZERIジャパン 紙のドームを実現

EXPO 2025

4月13日開幕の大阪、関西万博。落合陽一さん福岡伸一さんのパビリオンも注目ですが、ゼロエミッションや海洋プラスチック汚染に取り組まれてきたNPO法人ZERIジャパン(理事長更家悠介、ジオ研究所評議員)がパビリオン「Blue Ocean Domeブルーオーシャンドーム」を出展されます。テーマは海と話そう!また設計は紙の建築、段ボールハウスなどで有名な坂茂さん。「紙のパビリオン」として期待が高まります。

<https://www.zeri.jp/topics/news/「blue-ocean-dome-ブルーオーシャンドーム」のwebサイトを公開/>